

「ドンドン語ろう！in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 「市長とドンドン語ろう！」の回答内容の公表について 「市長とドンドン語ろう！」が各地で開催されているが、問題提起などに対する回答内容は公表されているのか。</p>	<p>〔市長〕 意見交換を行ったことや後日意見をいただいたことについては、結果および回答を全て公開をさせていただいており、およそ1～2ヶ月程度で市のホームページに掲載している状況。</p> <p>-----</p> <p>【広聴課 追記】 「市長とドンドン語ろう！」での意見交換内容等については、本市ホームページで公開するほか、インターネット閲覧ができない方のために、印刷したものを区役所やまちづくりセンターなどに設置している。</p>	政策局	広聴課
1	<p>(2) 災害等の対応について 災害等の対応については、人命に関わることもあり、財政措置を必要とすることもあるとは承知しているが、対処療法的な対策ではなく、予防的措置を含む抜本的な対策を望む。 また、災害時には一刻を争う。特に、高齢者や弱者を守るためにも、各部署における対応担当者を速やかに決定し、迅速な対応をしていただきたい。 避難勧告、指示等は、緊急性が伝わるような強い表現や命令口調で伝えて欲しい。</p>	<p>〔市長〕 住民への情報提供が分かりやすく行われるべきだということだと思う。特に熊本地震を経験して初動対応や被災者への情報発信の方法などが大切である。 避難時の広報については、命令口調にしたほうがいいという声もある一方で、何度も重なると効果が薄れるという話もある。 水害時には各河川が氾濫した場合、大きな被害がでるため、危険地域の皆様には予防的な避難をしていただくよう避難所を早めに開設している。そういった情報をテレビ、ホームページに出していく。また、近くのまちづくりセンターなどでも問い合わせに対して、避難所の情報などを提供していきたい。多くの方々に分かりやすく伝わりやすい情報提供を心がけるようにこれからも努力したい。</p> <p>-----</p> <p>【危機管理防災総室 追記】 本市では、緊急時における防災情報等が、市民の皆様確実に届くように、普及率が高い携帯電話へ「エリアメール」や「熊本市災害情報メール」の配信、防災行政無線や「緊急告知ラジオ」による放送、テレビのテロップをはじめとしたマスメディア、熊本市のホームページ等と多様な手段を用いて発信している。</p>	政策局	危機管理防災総室
	<p>(3) ごみについて 以前、美化推進員をしていたが、資源ごみの持ち去りやゴミ出しのマナーが悪いなどの問題が継続しているので、ごみ問題について広報してほしい。</p>	<p>〔市長〕 No.3で回答</p> <p>-----</p> <p>【ごみ減量推進課 追記】 ごみ出しマナー・分別ルール徹底と資源物持ち去り行為撲滅に向けた、市民等への周知は重要なことと考えているため、今後も市政だよりやあらゆる情報媒体を通じて啓発に努めたい。</p>	環境局	ごみ減量推進課

「ドンドン語ろう！ in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	<p>■防犯協会について 白山校区の防犯協会の運営について、決算書を見たが支出に端数がでておらず、本当に支出されているか疑問がある。生活安全課へ話をしに行っても、個人情報だからと中身を開示してもらえないし、校区の自治会の代表でも門前払いだ。 中央区には19校区防犯協会があり、10万円づつ補助金を出しているため、きちんとした決算書を出して報告することが義務だ。さらに、聞いた話だが提出期限を過ぎて提出しているとのこと。他校区と同様に補助金を出すのであれば、適正な運営か調べていただきたい。 4月に地震訓練を行ったが、白山校区の防犯協会だけが全く機能しなかった。変えなくてはいけないと考えているが、どうすることもできない状況だ。</p>	<p>〔市長〕 校区防犯協会は自主防犯組織であり、きちんと機能していることは地域の安全安心にとって非常に重要なことだと思う。ただ、自主防犯組織のため、役員等については地域で総会等を開き決めていただきたいが、実際はそれが難しいということだと思う。白山校区だけでなく全体として地域の自主的な組織が機能しているか、機能しやすくなっているかを行政としても見ていくことが必要だと思う。 今回いただいた課題については一旦持ち帰り、調査、回答させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【生活安全課・中央区総務企画課 追記】 各校区等防犯協会への補助金については、「熊本市校区等防犯協会補助金交付要綱」を基に、各校区において申請のあった全ての校区防犯協会の提出書類を確認しており、一律の取り扱いを行なっている。 また、その趣旨である活動支援という観点、並びに総会開催後に申請をされる団体もあるという実情などに鑑み、受付期間は柔軟に対応しているところである。とはいえ提出期限については、効率的な行政事務の観点から今後も補助金申請が遅れた団体に対しては、期限内に申請をするよう指導に努めていきたいと考えている。 なお、白山校区防犯協会の関連書類については、市役所1階の情報公開窓口で開示請求ができ、関係書類は中央区総務企画課で保管している。</p>	市民局 中央区役所	生活安全課 総務企画課
3	<p>(1) 区割り問題について 中央区にある帯山西校区内に住んでいるが、一部の住民の住所は東区であり、ねじれ現象が起きており、選挙や災害時などで支障をきたしている。平成29年に第2回第2次熊本市行政区画等審議会が行われており、今年2月に答申書が市長宛に出されていた。それと同時に結果の連絡があり、ホームページ等で確認したが、丁寧に審議いただき感謝している。政令市の区割りをを行う際にもこのような議論をしておけばよかったのではと思う。また、区割りに関する基準を作っていたことにも感謝している。区割りに関して9~10月にも要望書を提出させていただこうと考えている。 市長からまちづくりセンターの説明があったが、これまでは地域の自治会長などへ連絡を取りたい場合などどうしたらよいか分からなかったが、まちづくりセンターの対応がスムーズでリアクションが早かった。</p>	<p>〔市長〕 熊本市行政区画等審議会については、学識経験者等多くの方に丁寧に審議いただいた。区割りの問題については、政令市移行時に区割りを行った際、地域の方々の納得感や、決定のプロセスを理解いただくには時間的にタイトであったと思う。 熊本市行政区画等審議会ですでに検討し基準を定めたので、今後は基準に基づいて地域で合意形成をしていただき要望書などを出していただきたい。 区割りが変わるということは簡単なことではなく、生活に影響がある。行政区がまたがるということはエリアによってはあるが、その地域が不利益にならないように、まちづくりセンターや自治会等で協力をしながら、皆様に十分に情報が提供できるようにしたい。そして、決め事だけでなく、実際の運用（ソフト面）で住みやすいまちづくりを進めていきたい。</p>	市民局	地域政策課
	<p>(2) ごみの持ち去りについて 自宅マンションのごみステーションで、車を使って組織的にゴミの持ち去り行為が起きているようだ。自宅マンションは持ち去り禁止意思表示テープの使用モニターになっているため、結果が分かり次第、公表していただきたい。</p>	<p>〔市長〕 資源ごみの持ち去りについては、非常に危険だと感じている。様々な形で、パトロールを含めて持ち去り行為を徹底的に取り締まる強い覚悟で行っている。持ち去り禁止意思表示テープの使用モニターを含めて、皆様に結果について逐次お知らせしていきたい。パトロールも行っていくが、行政の人員では限界がある。市民の方々の協力は重要であるが、トラブルや怪我などの恐れもあるため、日時や場所、車のナンバーや特徴等を分かる範囲でゴミ減量推進課へ連絡いただきたい。その情報を蓄積しながら取締りを行っていきたい。</p>	環境局	ごみ減量推進課

「ドンドン語ろう！ in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>■保田窪踏切への駅新設について 現在、保田窪踏切は朝夕に非常に混雑しており、東海大星翔高校の生徒の自転車などが渡ることができない状況である。一度現状を確認いただきたい。 また、現地は周囲より高くなっており、陸橋を作るのではなく地下へ10mほど掘り下げれば立体交差の駅ができるのではないかと。 阿蘇熊本空港への豊肥本線延伸の話もある。市内中心部を走る鉄道を有効に利用するためにも駅の設置を検討いただきたい。</p>	<p>〔市長〕 自宅に近いため踏切の状況については、重々理解しており、様々な方向から自転車も往來するため非常に危険で改善が必要だと思っている。今後、豊肥本線を阿蘇熊本空港へ延伸することを含めて、熊本県がJRや他関係機関と協議を行っている。踏切にJRの駅を新設することは今すぐ回答できる状況ではないが、踏切を解消したり鉄道を活用することは非常に重要なことだと思っている。 また、熊本は渋滞がひどい。これは、幹線道路の整備率が計画に対して低いためであるが、現在国交省を含め関係機関と整備を行っている。それと同時に公共交通機関にシフトしていくよう、分かりやすく乗りやすいものとしていくことがこれからの社会に重要だと感じている。JR、県など関係機関との協議の中で踏切の解消などを提案していきたい。</p>	<p>都市建設局 都市建設局 都市建設局</p>	<p>交通政策課 道路整備課 東部土木センター</p>
5	<p>(1) 大井手川沿いの健康ロードの再整備について 健康ロードは現在、存在が薄れているが、白川小付近から渡鹿堰までの大井手川沿いであり、平成11年から平成13年までに整備された。歩くことを核とした街づくりと健康文化の定着を目指したものであったと理解している。 特定健康診断の結果、大江校区は他校区と比べて、血圧が高かったり、子どもの運動能力が低いなど、運動不足であると認識している。 他校区とあわせて健康度を高める施策をお願いしたい。その一環として大井手川沿いの健康ロードを再整備していただきたい。</p>	<p>〔市長〕 もともとは、各地域に健康ロードというものがあった。歩くことで健康をめざすことは重要なことだと思う。健康づくりという意味では、歩くこと、立つということは非常に重要である。私は、歩く街、それが健康につながる街づくりを行ってきたい。 過去に整備されたロードやマップなどももう一度見直すことで、地域の皆様と地域担当職員等と一緒に探検していくなど健康づくりのきっかけを作ることができればいいと思う。 熊本の人は、東京などと比べると歩くことが少ないと感じる。健康度を高める施策は重要なことだと思っている。</p>	<p>健康福祉局</p>	<p>健康づくり推進課</p>
	<p>(2) 大井手川の浚渫（しゅんせつ）について 6～7年前の大雨で大井手川が一時的に氾濫した。当時から、また土砂が溜まってきているので浚渫をお願いしたい。そのためにまずは調査をしてほしい。</p>	<p>〔市長〕 一度持ち帰ってから担当する機関（市か県かなど）を調べた上で、現在の状況を確認し対処したい。 ----- 【東農業振興課 追記】 平成24年の九州北部豪雨及び平成28年6月豪雨では、白川から大量の土砂が幹線用水路の大井手に堆積したため、市農政部にて通水に影響がある区間の浚渫を行った。水路内の土砂の堆積状況については、現在灌漑期のため、落水後に水路底の状況を確認する。</p>	<p>農水局</p>	<p>東農業振興課</p>

「ドンドン語ろう！ in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>(1) 地域防犯灯(LED)の交換時期について 白川10町内においてLED灯を設置したところ、犯罪がなくなった。町内で老朽化してきているところがあるが、どの程度の頻度で交換しているのか。 また、上通り、下通り周辺を散歩するが、20時~21時頃になると公園のトイレが暗い。また、通りを歩いていても暗いところがある。暗いと犯罪を誘発する街と誤解されかねないし、明るいほうが観光客も助かると思う。ただ、明るさについては賛否両論あるとも思うが、暗いよりは明るい方が良いのではないか。</p>	<p>[市長] 地域の防犯灯については、各町内で管理していただくため、交換も各町内で行っていただいている。道路の街路灯については、今年度から2ヵ年で全てLED化を行う。市長マニフェストのひとつであり着実に進めていく。暗い箇所などあった場合は近くのまちづくりセンターや区役所、土木センターなどにお知らせいただきたい。</p> <p>[東部土木センター所長] 18,500灯の街路灯のLED化を今年度発注に向けて取り組んでおり、今年度以降11年間の債務負担行為を計上している。</p> <p>[市長] 11年間のうちに一括更新したのちに順次更新をしていくということである。11年がかからないが、一括更新には数年は掛かると思う。</p>	<p>中央区役所 都市建設局</p>	<p>総務企画課 東部土木センター</p>
	<p>(2) 地域の祭りや文化財について 白川校区でお祭りをやっているが、多くの方々に参加していただいている。住民の間で挨拶が生まれるなど、地域のふれあい活動として役立っており、地域の安全安心にもつながっていると思う。 また、ジェーンズ邸や小泉八雲邸などすばらしい文化財があるが、観光客が来ていない。観光立県を目指すのであれば、もっとPRが必要ではないかと感じている。</p>	<p>[市長] 地域でのふれあい活動については、地域の皆様に頑張ってください、そこにまちづくりセンター含めた行政と一緒にやっていく。ふれあい活動など地域がつながるきっかけづくりが重要だと思っているので、そういう機会を増やして行きたい。ジェーンズ邸などの施設はストーリー性を持たせることが大切だと思っている。例えば夏目漱石の旧居をただ保存するだけでなく、いかに活用していくかが大事だと思うので、旧居で夏目漱石の作品の読書会を行うなど活用していく。現在、観光と文化を連携させていくことに取り組んでいるので、ストーリー性を持ったものとして進めていきたい。</p>	<p>中央区役所 経済観光局</p>	<p>中央区まちづくりセンター 文化振興課</p>

「ドンドン語ろう！ in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	(1) 観光について 今まで他県を含めて7市町村に住んだことがあるが、自治体によっては観光資源を生かして観光客を多く取り込んでいるところもあった。本市においては、すばらしい観光資源があるが生かされていないのではないかと思います。熊本市は、有名な漫画の作者の出身地であるなど全国に誇るものがあるが、ストーリー性をもった観光のルートを設定してインバウンドを図っていくべきと思うが、このことについて市長はどのようなことを考えているか。	〔市長〕 熊本市は歴史文化遺産や熊本出身のアニメ作家も多い。ストーリー性を持たせることについては、歴史文化だけでなく、若者の文化についても持たせていくことが重要だと思っている。西南戦争や熊本城などつなげていったり、周辺の自治体と広域的に連携をすることも大切だと思う。 また、熊本ゆかりの偉人については、子どもたちに分かりにくいことがあると思う。地元の偉人が与えた影響などについて、小さな頃から分かりやすく教えること、地域の歴史を教育とつなげることも大事だと思う。 田原坂は、日本赤十字の発祥に深く関わりがあり、西南戦争時に博愛社が設立され、ジェーンズ邸につながっていく。国際赤十字発祥の地とされるイタリアのソルフェリーノの丘と対比され、イタリアへつながる形で、現地から招待を受けたこともある。また、西南戦争は日本最後の内戦ということで平和教育にもつなげることができる。そういうことを授業を通して子どもたちに伝えている。	経済観光局	観光政策課
	(2) 市民病院の再生プロジェクトについて わが子が11年ほど市民病院に通っているが、新しい市民病院では通っている小児循環器内科がなくなるとニュースが流れていた。地域の中核的な総合病院としてどういったところに注力した病院を目指しているのか教えていただきたい。	【新病院開設課 記載】 当院はこれまでも小児・周産期医療に重点を置いた運営を行ってきたが、新しい病院でも同様に担っていく。小児循環器医療についてもその中の重要な役割として取り組んでいく。標榜科名については、医師の配置を含め医療スタッフの構成など全体的な検討を行い、12月頃の決定を目標としているところであり、決定後お知らせしたい。	病院局	新病院開設課
8	(1) 観光について 他県から友人が来るが、熊本城を除くと市内にとどまって観光するところがなく、目的地になりにくいと感じている。長崎新幹線が完成すると長崎方面に観光客が流れていくのではないかと思います。やはり熊本市を目的地にする必要があると思うし、ストーリー性というのが大事になってくると思う。観光の軸となるものを決める必要があるし、例えば、今はNHK大河ドラマ「西郷どん」が放映されており田原坂公園がクローズアップされてくると思うが、南九州で連携して観光誘致を行うこともあると思う。	〔市長〕 No.7で回答	経済観光局	観光政策課
	(2) 公園の遊具について 公園には子ども向けの遊具が多いと思うが、他都市では、大人向けのもの（アスレチックなど）があり、健康づくりに活用されていた。熊本市でも導入を検討していただきたい。	〔市長〕 遊具をたくさん作るというのは難しいと思うが、安全のための更新に併せて、皆さんの健康づくりに繋がるような遊具を整備するといったことは考えられる。公園の利活用に関して様々な意見があるが、たとえば、世代によって利用する時間帯が異なると思うので、時間帯によって利用のルールを変えるのも方法としてあると思う。遊具の件も含めて地域の皆様から利活用のアイデアをいただければと思う。	都市建設局	公園課

「ドンドン語ろう！ in中央区」 平成30年8月17日 大江公民館 意見交換内容 参加者：54名

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>■ブロック塀の調査について 市内で行われた民家等のブロック塀の調査に同行していた。調査で問題があった箇所については、どのような対応をすべきか、市から連絡がない。 また、修復する場合、助成金が出る自治体もあると思うが、熊本市ではそういった助成金を出したりすることは考えているのか。</p>	<p>〔市長〕 ご協力いただき感謝している。全ての施設で調査が終わったのは政令指定都市では熊本市だけだと思う。今後については、まず危険性が極めて高いものについては、カラーコーンなどで付近を通らないよう対応している。専門家の調査が必要なものについては、9月議会で調査を委託する予算を計上しており、学校施設についてはブロック塀の撤去と同時にフェンス設置を行うよう設計を進めている。 民間のブロック塀については、所有者の責任において詳細な調査や撤去を行っていただきたい。撤去やフェンス設置への助成金については現状では無い。財源の問題があり、国と協議を行っていくが、危険除去のための補助制度は前向きに検討させていただきたい。</p> <p>----- 【建築指導課 追記】 安全性が確認できないブロック塀については建築基準法に基づく維持管理の指導を行っていく。</p>	<p>都市建設局 都市建設局</p>	<p>建築指導課 建築政策課</p>